

ペテロ

第一

③

真の旅は 帰還である

ペテロの手紙第一 2章

救いの歌

アウトライン

0. イントロダクション

I. 世にある旅人 1:1~12

II. 召された者として 1:13~21

III. 救いの歌 1:1~12

IV. まとめと適用

真の旅は帰還である



ペテロの手紙第一とは？

- 著者 …使徒ペテロ
ユダヤ人の使徒(柄2:8)
- 宛先 …小アジア(トルコ)の
離散(ディアスポラ)の
メシアニック・ジュー
- 執筆時期・場所
…バビロン(5:13)、古来の離散の地
- おもな目的 …迫害に苦しむ
信者の励まし



ペテロとは？

- ガリラヤ湖の漁師(網元)。
既婚。兄弟はアンデレ。
- 洗礼者ヨハネの弟子から、
→メシアの弟子 →フルタイムの弟子
- 12使徒。イエスの変貌を目撃。
素直な信仰。挑戦と失敗、悔い改め。
教会指導者として任命。
- 聖霊降臨後、福音宣教の先端を拓く。
おもにユダヤ人伝道を担う(ガラ2:7)





I. 世にある旅人

ペテロの手紙第一2:1~12

奨励 求めるべきこと ペテロ2:1~2

ですからあなたがたは、すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、**純粋な、霊の乳***を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。

***主の御言葉。初歩の教え。基礎的教理。**

■最初に学び、当然に身につけておくこと。

何度でも確認し、確信を深めるべきこと。



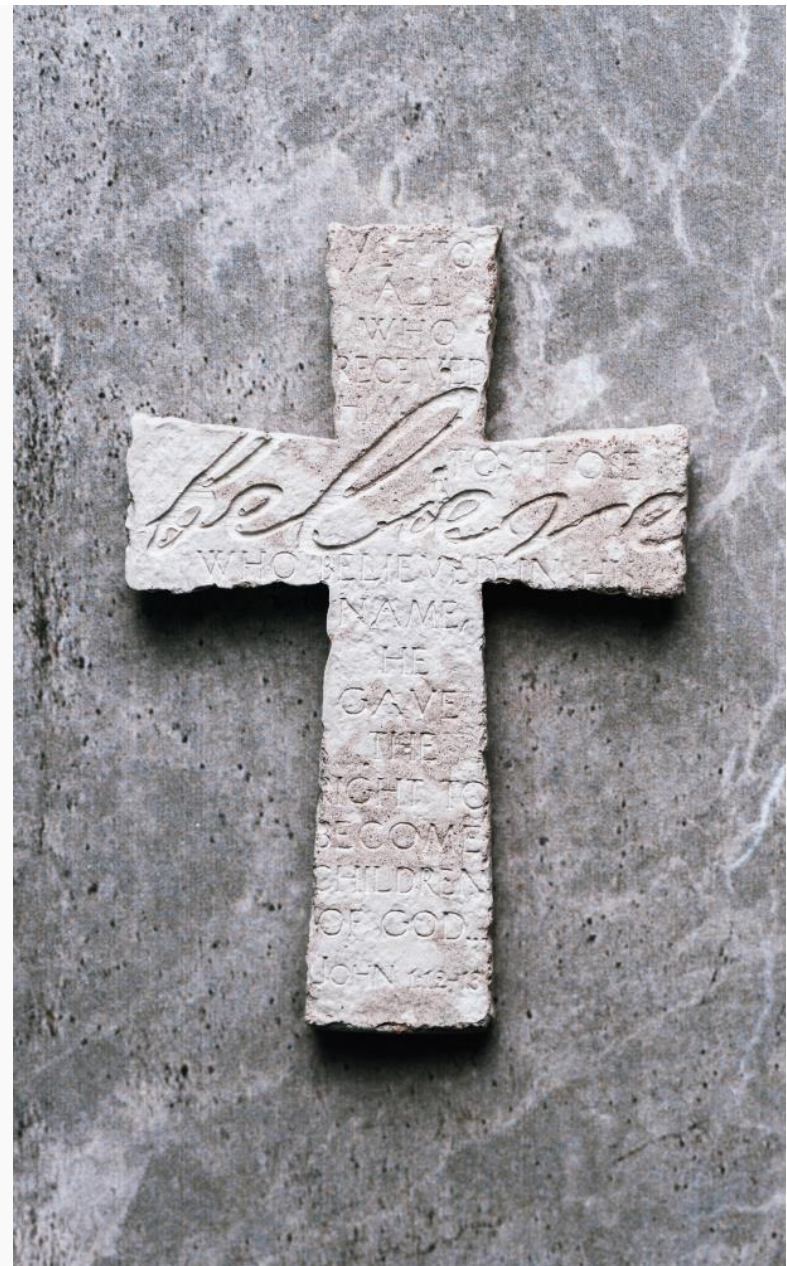
奨励 じっくりしみ深い主 ペテロ2:3~4

あなたがたは、主がじっくりしみ深い方であることを、確かに味わいました。

主のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが神には選ばれた、尊い生ける石です。

■主イエスの言葉 マタイ21:42

『家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった。これは主がなさったこと。私たちの目には不思議なことだ。』



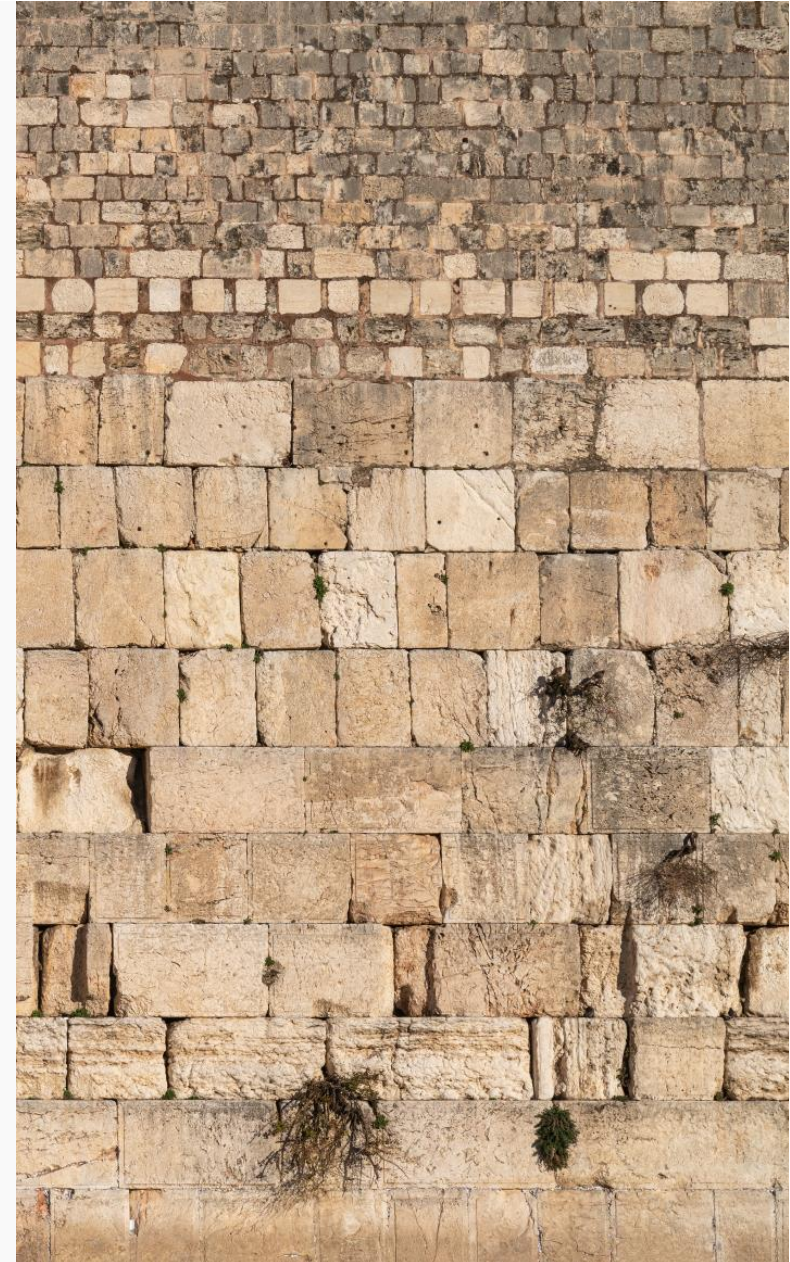
奨励 聖なる祭司 ペテロ2:5~6

あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしはシオンに、選ばれた石、尊い要石を据える。この方に信頼する者は決して失望させられることがない。」

■ 贖われ、きよめられた私自身をささげる。

➡ 聖なる祭司である信仰者のつとめ



奨励 つまずきの石 ペテロ2:7~8

したがってこの石は、信じているあなたがたには尊いものですが、信じていない人々にとっては、「家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった」のであり、それは「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからであり、また、そうなるように定められていた*のです。

*次元を超えた主の視点と、個々の選択の責任

■ メシアは、受け入れた者には恵み。

拒んだ者にはつまずき、妨げ。

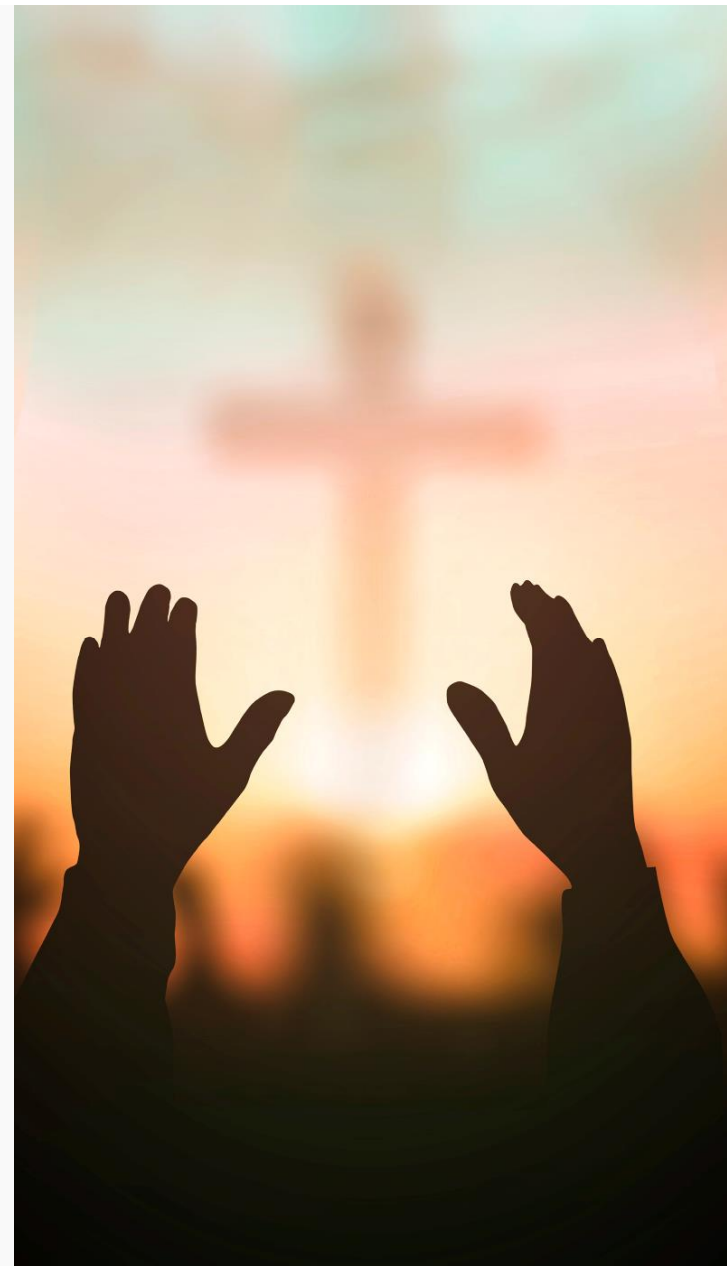


奨励 主に選ばれた者 ペテロ2:9

しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民*です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるため*です。

*福音を信じて、神の民、祭司とされた
離散のユダヤ人も。接ぎ木された異邦人も。

*救いの恵みを告げ知らせるために救われた。



奨励 神の民とされて ペテロ2:10

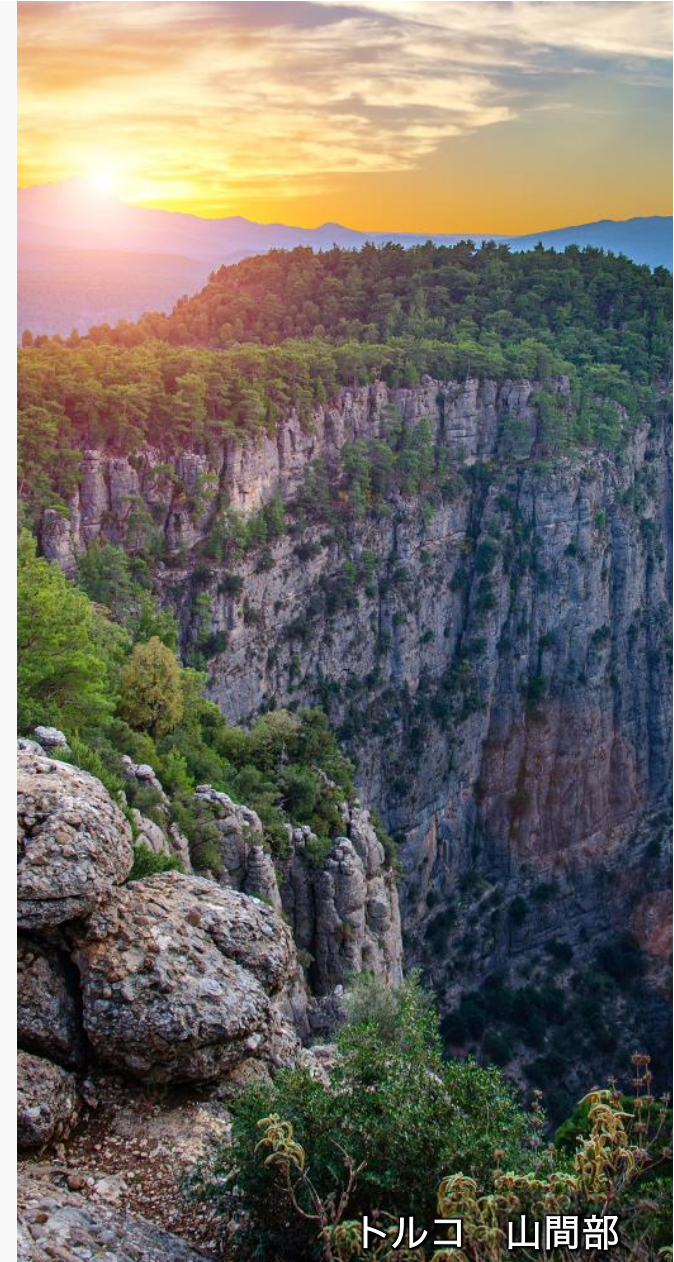
あなたがたは以前は神の民ではなかった*のに、今は神の民であり、あわれみを受けたことがなかったのに、今はあわれみを受けています。

*ユダヤ人にも求められる自己認識

離散のユダヤ人にあった疎外感?!

■ イスラエルであっても、メシアを信じてはじめて、真実に神の民とされる。

「マタイ3:9 あなたがたは、『われわれの父はアブラハムだ』と心の中で思っははいけません。」



トルコ 山間部

奨励 寄留者として ペテロ2:11~12

愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者*なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。異邦人の中にあって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日*に神をあがめるようになります。

*ディアスポラには、より強い自覚が

*主イエスの再臨…大艱難は最後の希望

■自分の欲望ではなく、主に従う





Ⅱ. 召された者として

ペテロの手紙第一2:13～21

奨励 権威への従順 ペテロ2:13~14

人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である**王***であっても、あるいは、悪を行う者を罰して善を行う者をほめるために、王から遣わされた**総督***であっても、従いなさい。**善***を行って、愚かな者たちの無知な発言を封じることは、神のみこころだからです。

*王…神が権威を与えた地上の最高権威(※皇帝)

*総督…王に任命された権威者

*ここでは、権威に従うこと

■地上の権威は、主が与えた従うべきもの



奨励 自由民へ ペテロ2:16~17

自由な者*として、しかもその自由を悪の言い訳にせず、神のしもべとして従いなさい。

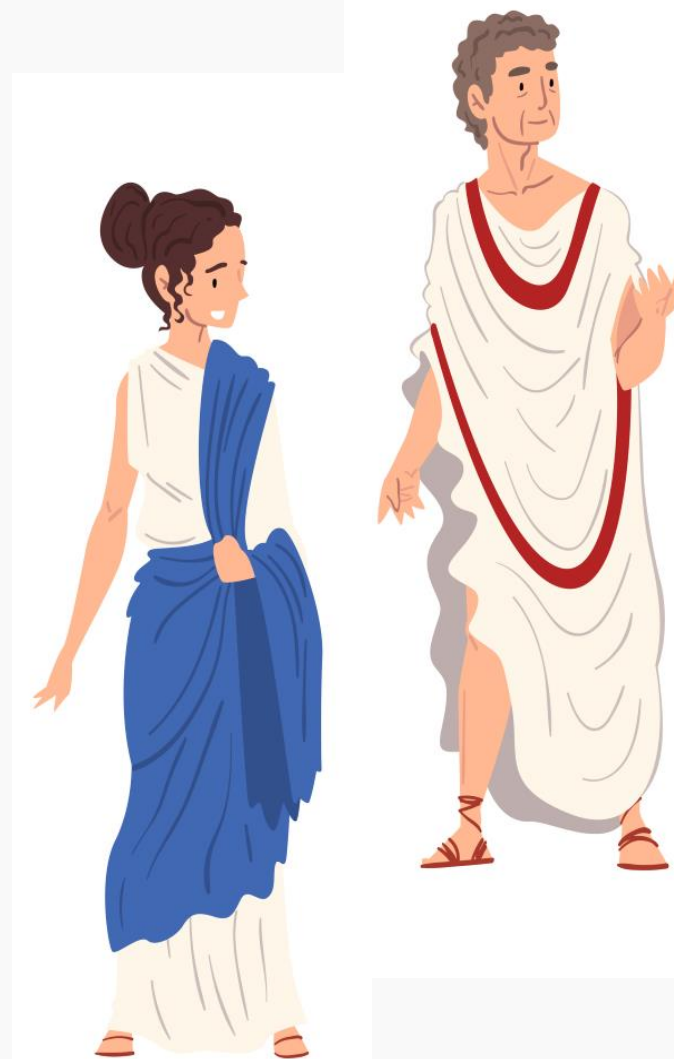
すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。

*ローマの自由民。ローマ市民権を持つ者。

パウロのように、ディアスポラにも、市民権を持つ者たちがいた。

■市民権を放縦に悪用する異邦人との聖別。

神への恐れ、権威者への敬意。人々への愛。



奨励 奴隷へ ペテロ2:18~19

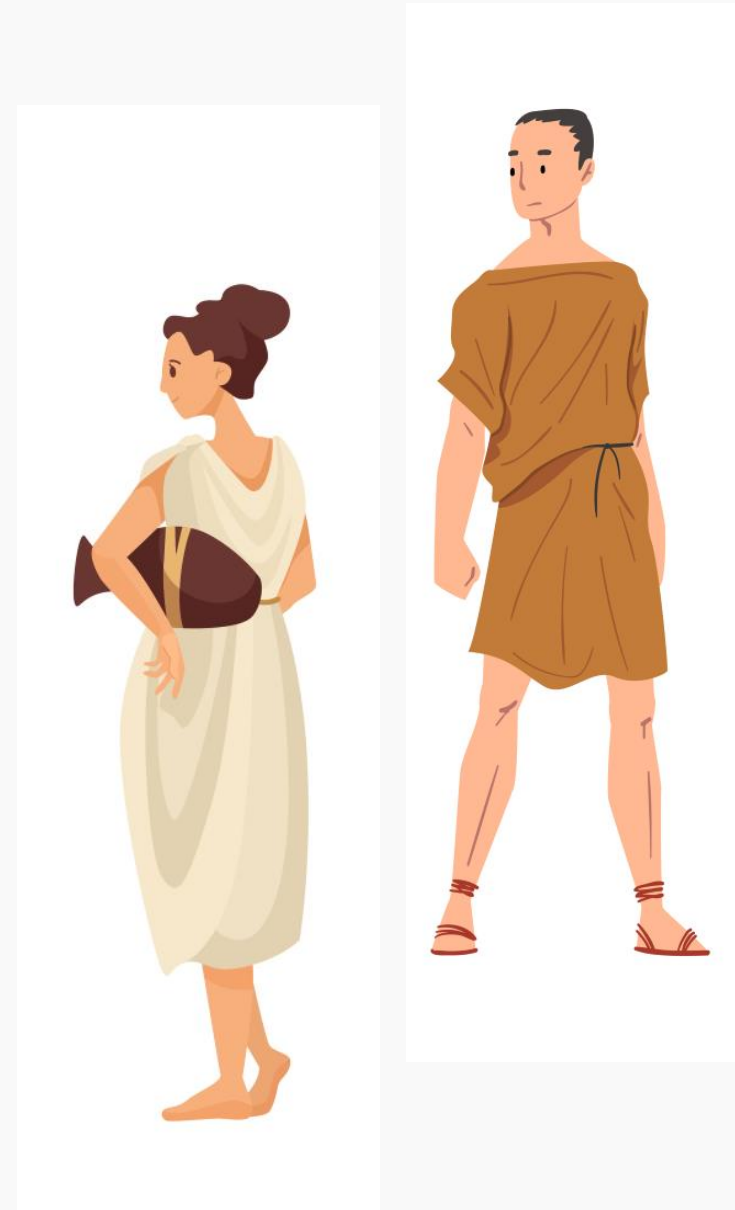
しもべたち*よ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。

もしだれかが不当な苦しみを受けながら*、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。

*奴隷 …肉体労働者から知的労働まで

*生殺与奪の権利は主人に。

➡奴隷の待遇は、主人次第



奨励 信仰者の試練 ペテロ2:20~21

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って*苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

このためにこそ、あなたがたは召されました。

*最高の善は主イエスに従うこと

信仰者には試練がある!!





Ⅲ. 救いの歌

ペテロの手紙第一2:21～25

トルコ カップパドキア地方

救いの歌

ペテロ2:21～25

- キリストの贖いと救いを歌ったもの
 - ➔ 当時の教会で歌われていたものだろう
- イザヤ53章のメシア預言を土台に

私たちが聞いたことを、だれが信じたか。

主の御腕はだれに現れたか。

彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。

砂漠の地から出た根のように。

彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、

悲しみの人で、病を知っていた。

人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

メシア受難の預言

イザヤ53章4～6節

まことに、**彼**は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。

それなのに、私たちは思った。

神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

しかし、**彼**は私たちの背きのために刺され、

私たちの咎のために砕かれたのだ。

彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、

その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

私たちはみな、羊のようにさまよい、

それぞれ自分勝手な道に向かって行った。

しかし、**主**は私たちすべての者の咎を**彼**に負わせた。

メシア受難の預言

イザヤ53章7～9節

彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。
屠り場に引かれて行く羊のように、
毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。
虐げとさばきによって、彼は取り去られた。
彼の時代の者で、だれが思ったことか。
彼が私の民の背きのゆえに打たれ、
生ける者の地から絶たれたのだと。
彼の墓は、悪者どもとともに、
富む者とともに、その死の時に設けられた。
彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

しかし、**彼**を砕いて病を負わせることは
主のみこころであった。

彼が自分のいのちを 代償のささげ物とするなら、
末長く子孫を見ることができ、
主のみこころは**彼**によって成し遂げられる。

「**彼**は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。
わたしの**正しいしもべ**は、その知識によって多くの人を義とし、
彼らの咎を負う。」

それゆえ、わたしは多くの人を**彼**に分け与え、
彼は強者たちを戦勝品として分かち取る。
彼が自分のいのちを死に明け渡し、
背いた者たちとともに数えられたからである。
彼は多くの人を罪を負い、
背いた者たちのために、とりなしをする。」

■ イザヤ53章のメシア預言を引用

➔ キリストの贖いの御業を加え、完成

キリストが、救いの御業を完成された!!

キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、
その足跡に従うようにと、
あなたがたに模範を残された。

キリストは罪を犯したことがなく、
その口には欺きもなかった。

ののしられても、ののしり返さず、
苦しめられても、脅すことをせず、
正しくさばかれる方にお任せになった。

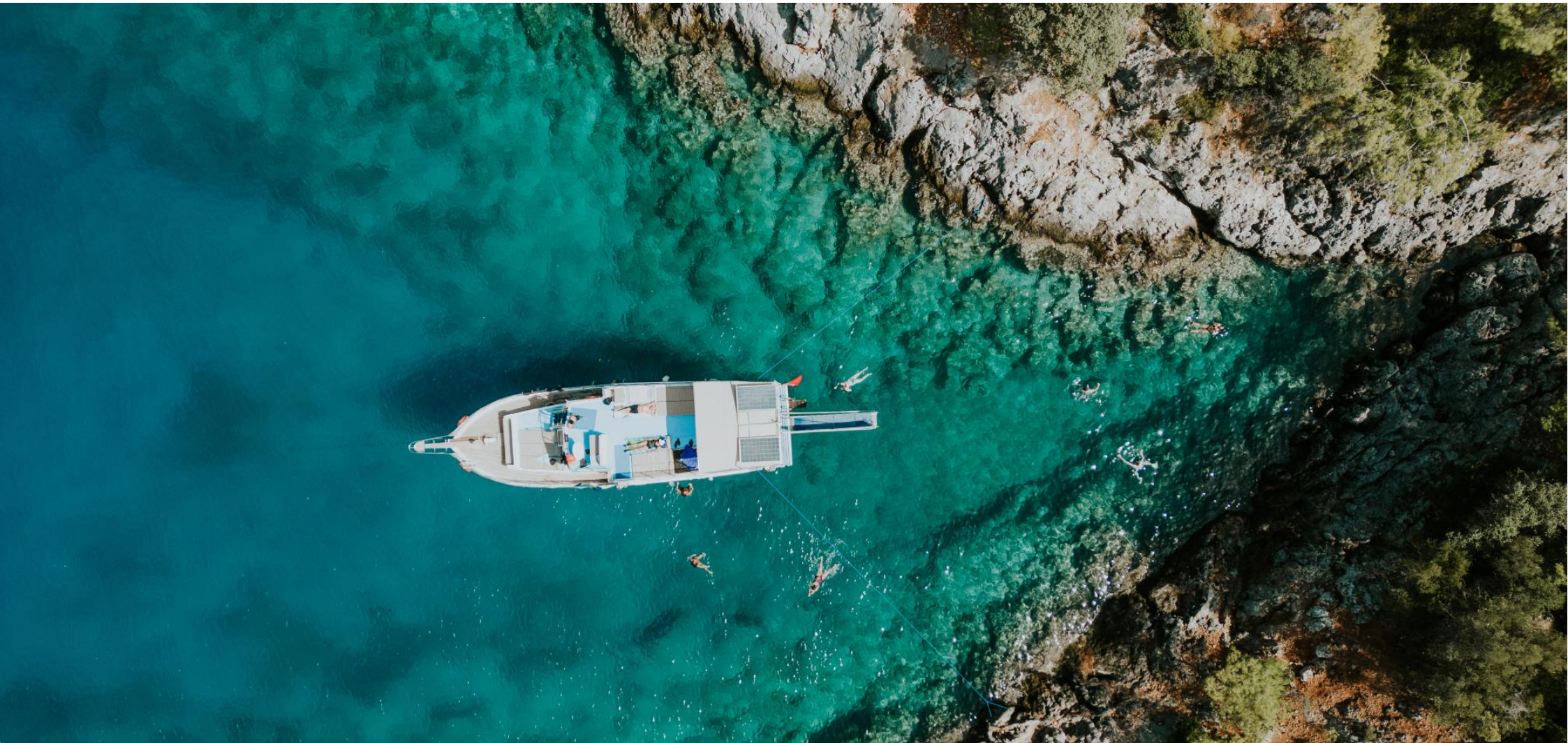
キリストは自ら十字架の上で、
私たちの罪をその身に負われた。

それは、私たちが罪を離れ、
義のために生きるため。

その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。

しかし今や、自分のたましいの牧者であり
監督者である方のもとに帰った。



Ⅲ. まとめと適用

真の旅は帰還である

- イザヤ53章を土台に、描かれ歌われるメシアの受難
- キリストの復活は、明記されていないが、信じた者の主への回復の宣言で締めくくられる。

「あなたがたは羊のようにさまよっていた。

しかし今や、自分のたましいの牧者であり

監督者である方のもとに**帰った**。 | ペテロ2:25」

主の復活と信者の復活

■明記されてはいないが、明らかなこと

➔主イエス・キリストは、死を打ち破って復活された。

■すべての信者に起こっていること

➔聖霊の証印を押され、永遠に主の所有とされた

■主の目には、すでに起こっていること

➔すべての信者が栄光の体で、メシアの王国に帰還

あなた方は、主のもとへ帰った

回復された二つの者

① 離散のユダヤ人

捕囚以来、約束の地から散らされ、苦難の流浪
(すべてのユダヤ人は、世に離散した寄留者)

② 異邦人

世にあって望みも、神もない者(エペソ2:12)

共に、主イエスの十字架の死と復活を信じて救われた

「すでに」と「いまだ」の間の旅

「愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは**旅人、寄留者**なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。異邦人の中にあって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日に神をあがめるようになります。2:11~12」

- **すでに**、永遠の神の国民とされた。
- いまだ**、地上では旅人、寄留者。

人々を救いに導くため、主を証しすることが私たちの使命

メシアの受難の預言 イザヤ53章

【ペテロ2:24～25】

キリストは自ら十字架の上で、
私たちの罪をその身に負われた。

それは、私たちが罪を離れ、
義のために生きるため。

その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。

しかし今や、自分のたましいの牧者であり
監督者である方のもとに帰った。

★ 信仰者の人生こそ、真実の旅路 ★

- 「私は主のもとに帰った」 永遠の真理を胸に刻もう。
- すでに、主に永遠に帰属したが、いまだ、地上の寄留者。
すでにと、いまだの間で、地上を行く旅人が私たち。
- 旅には苦難がつきものだが、帰るべき家が待っている。
真の旅は帰還。福音を掲げつつ、主を証ししていこう。

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、

① ^{つみ}わたしの^{あがな}罪を^{じゅうじか}贖うために^し十字架で死に、

② ^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③ ^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

^{わたし}私は、^{しゅ}主よ。あなたのもとに^{かえ}帰りました。

^{わたし}私は、いまだ、^{ちじょう}地上を^ゆ行く^{たびびと}旅人ですが、

すでに、^{えいえん}永遠の^{かみ}神の^{おうこく}王国に^{きぞく}帰属しています。

^{ふくいん}福音を^{かか}掲げ、^{しゅ}主を^{あか}証し、^{あゆ}歩みます。御^{みたま}霊で^み満たしてください。

^{しゅ}主イエス・キリストのみ^な名によって^{いの}祈ります。　アーメン」